

# 令和3年度事業計画

## I 《事業方針》

新型コロナウイルス感染拡大以降、生活様式の変化などを含め、社会全体がその対応に苦慮している状況下において、本会としても会員交流事業の停滞もあり、本年度は新型コロナ感染対応を図りながら各種事業の遂行を目指し対応していくこととしたい。

本会退職共済制度についても、法人にとって退職共済制度が人員確保のメリットになる1つのアイテムとして活用いただけるよう周知を図る。

なお、資金運用については、引き続き4資産バランスのスケールメリットを活かし、リスク低減を図りながら積み立て割合のさらなる向上と退職共済制度の充実を図っていく。

## II 《会務の運営》

### 1. 理事会の開催

定例2回（5月、3月）、その他必要に応じ随時開催

### 2. 総会の開催

（1）定期総会 令和4年5月

（2）臨時総会 必要に応じ随時開催

### 3. 監事会の開催

（1）令和4年5月 決算時定期開催

### 4. 共済制度管理運営委員会（必要に応じ随時開催）

本会退職共済制度の安定化に向け、運用並びに将来的な制度構築などの検討

## III 《資金の運用》

信託運用における、単年度ではなく長期的運用の観点から、運用に関する運用基本方針並びに運用ガイドラインを遵守するとともに、制度の維持と安全かつ適確な資金の運用を目指し、予定利率は2.0%を継続し、令和3年度の運用ガイドラインを以下の通り設定する。

区 分	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	その他
令和3年度	49	16	16	17	2

(※ 本会加入平均年齢は39.7歳、平均加入期間は8.4年)

## IV 《事業項目》

### 1. 退職手当共済事業の推進と充実を図るため、以下の事業を実施する。

（1）新規法人への加入推進

（2）退職共済制度に係る資金の安全かつ適正な運用及びその充実に向けた事業

（3）退職一時金及び返還金の支給

（4）国策等への対応と制度のあり方の検討

（5）一般社団法人全国民間社会福祉事業従事者共済連絡協議会並びに各事業実施団体等との連携と協働

- (6) 永年勤続者への表彰（状）及び記念品の贈呈
- (7) 非常時(災害・感染症など)への対応強化

## 2. 福利厚生事業の推進

- (1) 福利厚生センター(ソウエルクラブ)との事業(会員交流等)の実施と参加促進
- (2) 「会員交流事業」の充実と協力事業所の拡大

## 3. セミナー・研修会の開催

本会退職手当共済制度の制度内容の理解と事務の円滑化に向け適宜、各種研修会等を実施

## 4. 事業PRと広報活動

- (1) 現地説明（随時）及びホームページの活用による会員等への周知と加入促進
- (2) 福祉団体等への広報誌への広告掲載

## 5. 調査研究事業

退職共済制度に関連する速やかな対応を図るため、以下の調査研究を行う。

- (1) 制度や会計、税に関する情報収集と検討対応
- (2) 変動する市場動向・金融状況の把握と対応
- (3) 制度の維持継続に向けた将来的な制度の調査研究

## 6. 各種研修会・会議への参加

- (1) 本会制度の充実に向け、全国協議会並びに他県実施団体との連携と情報交換を図り、各種ブロック会議、全国会議等への参加を行う。
  - ① 北海道・東北ブロック民間社会福祉事業従事者共済連絡会議
  - ② 一般社団法人全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会の各種会議等（随時）
  - ③ 福利厚生センター関連の各種会議・研修会
- (2) その他、制度並びに資産運用等に関する各種セミナー等への参加